

母子草

発行所
水戸市八幡町11-52
ラーク・ハイツ内
社会福祉法人
茨城県母子寡婦福祉連合会
029 (221) 7505
編集発行者
境 洋子

第515号



県母連は共同募金会の受配団体です。



会長新年のご挨拶

社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会 会長 境 洋子

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、ひとり親家庭や寡婦を取り巻く環境は、就業や子育てをはじめ依然として厳しい状況が続いており、近年は子どもの貧困率の高さも指摘されております。

こうした中、国においては、子どもの貧困解消やひとり親家庭等の支援策が総合的に推進され、特に、昨年度は、ひとり親家庭の高等職業訓練を促進するための貸付金制度や子どもの生活・学習支援事業の創設、また児童扶養手当については、2人目以降の支給額が増額され、さらに、今後所得制限額の引き上げや支給回数の改善も予定されております。

こうした支援策は、70年にわたる先人の方々の大変な努力によって築き上げられたものであ

り、私達も、この母子寡婦福祉に捧げた精神を受け継ぎ、ひとり親家庭や寡婦が安心して暮らせる社会を実現するため、支援の更なる充実を目指し活動してまいります。

また、当連合会におきましては、2年連続して、県庁所在地である水戸市と下妻市に母子寡婦福祉会が設立され大きな朗報ではありますが、各地区の母子寡婦福祉会においては、会員の高齢化や意識の変化により、会員数が減少し組織の弱体化が危惧されておりますので、役員等の後継者育成や組織の活性化に取り組んでまいります。

さらに、今年の9月30日には、第72回関東地区母子寡婦福祉研修大会の開催が水戸市で予定されております。皆様方の更なるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



知事新年のご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

あけましておめでとうございます。

皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

連合会の皆様方におかれましては、日頃から、ひとり親家庭や寡婦の皆様方の福祉の向上にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

知事に就任してから4ヵ月余り、この間、現場に足を運び、さまざまな課題について改めて

認識を深めますとともに、私自ら多くの議員と議論を進め、昨年末には、「活力があり、県民が日本一幸せな県」を基本理念とした、これからの県づくりの方向性を示す「新しい茨城づくり」政策ビジョンを取りまとめたところです。

人口減少や少子高齢化が急速に進み、地域間の競争激化や格差の拡大など、これまで暮らしやすく、安定的に発展してきた本県にとりましても厳しい時代を迎える中、安心・安全な生活

基盤を構築しながら、茨城の未来を担う「人財」を育てていくことが、きわめて重要であると感じております。

県といたしましては、ひとり親家庭の親子を対象とした高校卒業程度認定試験のための給付金制度、資格取得を目指して専門学校などで学ぶひとり親家庭の親に対する入学準備金等の貸付、母子家庭等を対象とした親子のふれあいの機会の提供などを通じて、ひとり親家庭や寡婦の皆様への支援に力を注いでまいります。

こうした中、連合会の皆様が、これまで休止

していた市町の母子寡婦福祉会の再結成をはじめ、会の活動の活性化に向けて積極的に取り組まれておりますことは、誠に心強い限りです。

県では、引き続き、連合会の皆様とともに、ひとり親家庭や寡婦の方々の生活の安定と向上に力を注いでまいりますので、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

茨城県母子寡婦福祉連合会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

県北・県西ブロックだより

夏休みの思い出

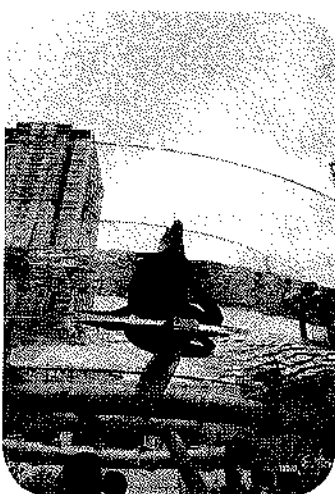
日立市 篠木 龍之介

中学生になってから、部活動が始まり、定期テストもあるので、土日は部活と勉強・趣味の読書やテレビ鑑賞であっというまに終わってしまうようになりました。

小学生の時は土日を利用して旅行に行ったりしていましたが、部活のない時はテストの前なので、まとまった時間が取れないから仕方ないと思っていました。

それでも、夏休みの母子会のバス旅行に参加できることになったのでうれしかったです。

サンシャイン水族館は初めて行くので楽しみでした。ちょうどリニューアルされて話題になっていた「空飛ぶペンギン」を見ることが



できました。ペリカンやペンギンを下から見上げるのは不思議な感じがしました。カワウソが大人気で見ている人がたくさんいました。都会のビルの中にあるから広さはないので、グルグルと何度もまわって見る

ことができました。おみやげ売り場ではカワウソとペンギンのマスコットを買ってもらいました。

お昼はどこも混んでいたのですが、比較的にすいていたお蕎麦屋さんに入りましたが、そのあとで大好きな餃子のお店を見つけたので、がんばって並んで食べました。

そのあとは「ポケモンセンター・メガトーチョー」へ行きました。ここもまだ行ったことがなかったので、ポケモンの世界を楽しみました。また、ビルの中央の広場にもたくさんのモンコレの展示がしてあって楽しかったです。

たくさんのお店があって、人もたくさんいて、バスが停まっている所へ戻ってくるのに迷いましたが、建物の中が涼しかったので良かったです。

一日歩き回って疲れましたが、とても楽しくてリフレッシュできました。またしばらくは部活と勉強の毎日になると思いますが、がんばりたいです。



ディズニーランドに行って

高萩市 小 松 笑美子



私は、母子寡婦福祉会という会がある事を子供が保育園の時に知りました。

どのような会なのか、どんな方がいるのかも分からない中で新入学生の集まりに行きました。

今回のディズニーランドへ行く事が出来た事は、母子寡婦会の方が計画をし年1回行

なっていると聞いてとても驚きました。

母子家庭での旅行や遠出など仕事をしている中で子供と行く機会がないのでとても有難いし助かりました。

バスの中でもビンゴなどをして頂き子供達も飽きる事なく現地や家までの長距離の移動が出来たのだと思います。

また、現地でも団体行動ではなく家族で行動するよう計画されていた為、家族の時間を有意義に過ごすことが出来ました。

子供との時間を楽しく過ごし、また思い出に残るような事が出来た事、そして今回の企画や計画をしてくださってありがとうございました。

これからも、この様な企画がある場合には親子で参加をしたいと考えています。

ディズニーシーに参加して

北茨城市 糸 賀 知 美

11月11日、母子会の行事でディズニーシーへの親子の小旅行へ参加しました。

高校生になった息子と小学生の娘と参加しました。年に1回の待ちにまった楽しみだからバスの中では、一緒に参加した友達と楽しくゲームをしたり、スカイツリーが見えると写真を撮ったり、とても楽しそうでした。

ディズニーシーに着いてからは、お友達と、行きたい所、乗りたい物など相談しあって楽しんでいました。

普段見られない行動や、親子のふれあいがたくさん出来てとても良い思い出が出来ました。中でも子供達の一番のお気に入り、か

くれミッキー探し、いろんな味のポップコーンを食べる事でした。

乗り物は、今年オープンした『ニモ&フレンズ・シーライダー』で、ラッコが出て来た時には、娘はすごく興奮して、私もすごくうれしかったです。

帰りのバスでは、また来年も絶対行きたいと言いながら、バスのゆりかごでスヤスヤ夢の中でした。

また親子3人で参加したいです。

楽しい思い出を作る事が出来ました。

ありがとうございました。



東京スカイツリー、アクアパーク品川研修会に参加して

常陸大宮市母子寡婦福祉会

福 地 敏 子

三月に母子会の行事で、私達寡婦会からも二名が付き添いました。

初めての参加でしたので子供達を見守ってられるか不安でしたが、メディアで話題に

なっているスカイツリーにも行ってみたいワクワク感もありました。

総勢三十三名の参加です。今時の若いお母さん達のきびきびした行動とよく言う事を聞く子供達に感心し、私達付き添いの方でも安心して楽しむ事ができました。

三百五十メートルの展望デッキからの眺めは口に出来ないほどすばらしく、はるか遠くまで見渡せるパノラマの風景に声をあげながら一周してはしゃぎました。

昼食後、アクアパーク品川へ移動になり水族館も久しぶりに堪能しました。



特にイルカの曲芸では若い娘さん達がイルカの背に乗って一緒に泳いだりして、良く調教しているものだと感心しました。

水びたしになりながら大声をあげて笑ってしまいました。

天気も良く参加者一同、時間通り無事にバスに戻り、疲れた様子もなく皆さん満喫された様子でバスの中でも子供達の元気な声が聞こえました。

機会があれば、又母子会の付き添いに参加して、子供達の元気パワーをもらえればと思いました。

親子クリスマス会に参加して

常総市母子寡婦福祉会

岡 野 たか子

常総市では、毎年恒例の親子クリスマス会が、石下総合福祉センターで行われ、今年も娘と一緒に参加させて頂きました。

開催時刻30分くらい前に到着すると、会長さんはじめ、寡婦役員の方々、母子部役員の方々そして、クリスマス会を心待ちにしていた子ども達が、大勢参加し、部屋の飾りつけを楽しそうにしていました。

ペットボトルで作られたボーリングや、輪投げ、射的、バルーンアート等のゲームを順番に楽しみました。

このクリスマス会のメインイベントとなるビンゴゲームが始まり、会場に並べられたプレゼントを、全員が受け取ると、とっても嬉

しそうな、かわいい笑顔が、あふれました。

調理室に移動し、母子全員で、ケーキのデコレーションを行いました。

昼食は、寡婦の方々が、朝早くから作った具だくさんの温かい豚汁とお弁当を、70名の大勢で頂いたので、普段は、好嫌いをしている子供達も、おいしいと完食しました。

娘にとって学校の友達以外の子供達と、楽しく過ごす、このような機会は、とても貴重です。今後も母子会の事業に進んで、参加したいと思います。



寡婦の研修の旅に参加して

桜川市母子寡婦福祉会

副会長 細 谷 トシ子

季節は九月栃木県那須方面バスの旅でした。バスの中は会話が弾みそれぞれの顔は笑顔に染まりました。

景色は山も道路沿いの木々も緑いっぱいでした。バスはしばらく走り那須に入ると両側の林はきれいに整えられ建物は全部茶色に統一されています。

運転手さんの説明では茶色に統一してお客様を迎えているのだそうです。

少し走るとステンドグラス美術館です。足を運ぶと入口の手前に細く伸びたほうの木が大きい葉を広げ迎えてくれました。木々の中でこもれ陽を受け育てているせいかどンドン光を求めて高く細く伸びていました。

館内に入ると華やかな作品がそれはそれは所せましと展示されています。

ランプ、壁掛け、小物などあきることなく色ガラスの組合せに感動しながら見て回り私も記念にと一つ小さい品を買い求めてほんの

ちょっぴりワクワク感にひたりました。

パイプオルガンの生演奏を身近で聴くことができたことに感謝です。

五感で楽しむ美術館と聞きこの五感とは光、美、音、風、香、だそうです。私にはむずかしい事はわかりませんがこの五感を自分なりに受け止めみんなで心に新しい風を入れて心から笑顔にひたった一時でした。

今頃は入口のほうの木は葉を落とし寒さに耐えながら春を待っていることでしょう。

人はいつも自然の中で人と自然に支えられて生きています。

今回の研修の旅も一人ひとりが新しい風を受け止め楽しく参加者全員が元気に笑みながらステキな話題をおみやげに研修の旅となりました事みんなにありがとうございます。

母子寡婦福祉会に入会して

境町母子寡婦福祉会

小 林 清 美

入学祝う会に出席したことが、きっかけで母子会の存在を知り、入会しました。当日は、交通安全をテーマとした紙芝居や芸人のアトラクションで盛り上がり、楽しかった事を思い出します。

今年は、六月に東松山動物公園と十一月にディズニーランドのバスツアーに参加しました。バスが発発すると、恒例になっているビンゴゲームで盛り上がりながら、笑いの絶えないにぎやかなスタートです。母子会で仲良くなったお友達と行動を共にし、親子二人で行ったときには見られなかった笑顔や言葉使

いなどに新鮮な気持ちになり、子供の成長も確認できました。境町では、コミュニケーションの場を、会員の意見を取り入れて、全員参加型を導入しているところも、うれしい点です。

同じ環境のもとで、生活を支えている他の家族と交流する事によって、日ごろの子育ての不安や悩みを話すことが出来、心強く前向きになれるような気がします。まだ、日が浅いのですが、たくさんの人とふれあいを取っていききたいと思います。



お知らせ広場

母子家庭等自立促進対策事業 介護職員初任者研修を実施して

母子・父子福祉センター 富永百合子
茨城県から委託を受け六月から実施された研修も無事十月一日修了することが出来ました。

県内各地からの参加者は二十名、北茨城市や古河市からも参加されました。

仕事と子育てすべてを一人で担っていて、休みの日曜日に介護の勉強に励まなければならず、とても大変なことだったと思います。久しぶりに講義に臨む姿は、事務局にも緊張感が伝

わってきましたが、参加者は同じ境遇の方達なのですぐに慣れ休み時間には、笑い声が聞こえるなど和やかな雰囲気です。講義に臨まれました。

託児を利用している子供たちは、二歳から小学三年と年齢差はありましたが、保育士一名に支援員二名を配置させたため、お母さんたちも安心して講義に臨むことが出来たと思います。

十月一日の修了試験には、全員が合格しました。

今回、スキルアップのために参加された方や、安定した就労に就くことを目的として参加された方たちばかりの為、母子家庭等就業・自立支援センターにも登録していただきました。希望に沿った就職先が見つかり、よりよい生活を送ってほしいと思います。

資格を活かしてひとり親家庭の日常生活をサポートしてみませんか？

保育士やヘルパー、介護福祉士の資格をお持ちの方であれば、一時的に家事や子育てが困難になったひとり親家庭を、有償ボランティアとしてサポートできます！

活動には家庭生活支援員としての登録が必要になりますので、お気軽にご連絡ください。資格をお持ちのお友達もいらっしゃいましたら、ぜひお声をかけてみてください。



連絡先

社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会

母子・父子福祉センター 029-221-8497 (平日8:30～17:15)

平成 30 年度県母連主要行事予定



月	主な事業等	月	主な事業等	月	主な事業等
4	・辞令交付式(4/2) ・観劇(4/20)	5	・監事監査 ・理事会 ・高等職業訓練促進資金貸付金(就職準備金申請受付)	6	・評議員会 ・第516号母子草発行(県央・鹿行)
7	・高等職業訓練促進資金貸付金(入学準備金申請受付)	8		9	・関東地区母子寡婦福祉研修大会(ホテルレイクビュー水戸:9/30)
10	・親子ふれあい宿泊研修(こどもの城:10/13~14) ・全国母子寡婦福祉研修大会(岡山市:10/27~28) ・第517号母子草発行(県南)	11	・理事会	12	・観劇
1	・新年懇談会 ・第518号母子草発行(県北・県西)	2	・市町村母子寡婦福祉指導者等研修会 ・県母子部長等会議	3	・全国母子部長会議 ・理事会 ・評議員会

編集後記

◇ 平成30年度はいよいよ水戸市で関東地区母子寡婦福祉研修大会が開催されます。母子会メンバーが一致団結し、笑顔で関東の皆様をおもてなしできるよう準備を進めていきましょう。

◇ また、県母連のホームページが新しくなりました。今後は、社会福祉法人の基本情報のほか、機関誌「母子草」、母子家庭等を対象とした講習会や研修会などを随時掲載しますので、スマートフォンやパソコンをお持ちの方は、是非ご覧になってください。(事務局長)

母子会 加入のお知らせ

各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。

あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

お問い合わせ

(社福)茨城県母子寡婦福祉連合会
TEL029-221-7505